

※ 今回から、応募書類提出方法が変更となりましたので、ご注意ください。 ※

第80回一般社団法人日本泌尿器科学会坂口賞の公募について

「坂口賞」について

日本泌尿器科学会の黎明期（明治34年～大正15年）には、泌尿器科学に関する優秀な研究論文は日本泌尿器科学会雑誌よりも、皮膚科泌尿器科雑誌や外科学会雑誌に投稿される傾向があった。これを憂いた坂口 勇先生は日本泌尿器科学発展隆盛を計る目的で論文懸賞の資金を学会に寄附し、当時の日本泌尿器科学会高橋会長が懸賞名を「坂口賞」とした。

坂口賞は日本泌尿器科学会雑誌に優秀な論文の投稿を促す学術奨励賞の性格を有しており、その対象を「論文筆頭者で卒後10年未満の指導医でない者に限る」としてスタートしたため、当初は若手医師の登竜門的な歴史ある学術奨励賞であった。しかし、その後の坂口賞申請者の減少を鑑み、1996年に応募者の年齢を「40歳以下」へと変更し、更に本学会誌への質の高い論文の投稿を活性化するため、2018年には「45歳以下」へと若手から中堅医師まで対象を広げ、現在に至っている。

坂口賞は、日本泌尿器科学会における最も伝統と権威のある学術奨励賞である。

.....

一般社団法人日本泌尿器科学会坂口賞の推薦は、下記概要により実施致しますのでお知らせ致します。

公 募 概 要

1. 受賞者数

3名以内とする。

2. 副賞

各20万円

3. 応募資格

下記論文の筆頭者で45歳以下（2021年3月31日現在）の本学会正会員とする。

4. 応募論文

(1) 2020年4月から2021年3月までに一般社団法人日本泌尿器科学会（以下「本学会」という。）雑誌及び英文誌（International Journal of Urology）に掲載された論文とし、著者の数は問わない。

（オンライン掲載期間も可ただし次年度、同じ論文で応募することはできない。）

尚、他学会の受賞論文は除く。

(2) 論文は一編のみとする。

(3) 原則として原著論文とする。

5. 応募方法

(1) 自薦又は他薦とし、他薦の場合は本学会専門医の資格を有するものとする。

(2) equally contributedの共著者がいる場合は、全共著者の承諾と自筆署名を得ること。（書式 坂-3）

(3)多施設共同研究などのグループスタディの場合は、当該共著者の承諾と自筆署名を得ること。（書式 坂-3）

6. 応募書類 ※今回からメールでの提出のみとし、郵送では受け付けない。

(1) 略歴書（形式自由），(2) 論文のコピー，(3) 必要事項を記入した申請書（用紙は、本学会ホームページの会員専用ページからダウンロードする），以上3点をそれぞれPDF化し、メール添付にて、日本泌尿器科学会 学術委員会（E-mail: gakujuitsu@urol.or.jp）に送信する。

7. 応募期間

2021年7月12日（月）～ 8月13日（金）17時 メール着信締切り

8. 選考方法

本学会の選考委員会において選考し、学術委員会での審議を経て理事会で決定する。

9. 採否の通知

2022年1月初旬頃、応募者と推薦者あてにメールで通知する。

10. 受賞者の贈呈式

2022年4月予定。別途、応募者と推薦者あてに案内する。

11. 問い合わせ先

一般社団法人日本泌尿器科学会 学術委員会 宛

TEL： 03（3814）7921 / E-mail： gakujuitsu@urol.or.jp